令和6年度事業

第2期まち・ひと・しごと創生総合 戦略にかかる効果検証

1. 数値目標の達成状況

項目	基準値	R6調査	目標値	参考 (R5調査)				
<基本目標1>次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる								
子どもの出生数5か年の合計値	144人 (H29~R3)	121人 (R2~R6)	5年間で170人	115人 (R1~R5)				
<基本目標2>地域外の人との関わりを深め、人の流	れをつくる							
転入者数5か年の合計値	1,330人 (H29年からR3年)	1,345人 (R2~R6)	5か年で1,500人	1,338人 (R1~R5)				
転出者数5か年の合計値	1,868人 (H29年からR3年)	1,647人 (R2~R6)	5か年で1,700人	1,718人 (R1~R5)				
<基本目標3> 地域資源を生かした自律的なまちを	つくる							
若年層(15~39歳)の町内就業比率	37.5% (H27年)	41.3% (R2年)	5年間10ポイント上昇 (47.5%)	41.3% (R2年)				
<基本目標4> 住み続けられる魅力ある地域をつく	న <u>ె</u>							
要介護認定出現率	17.8% (R3年度)	18. 2%	17. 0%	17. 3%				
高校や大学を卒業したあとに能勢町内に居住し て、就職したいと 思う人の割合	14.1% (R2年度)	R8年度調査予定	R8年度調査予定	R8年度調査予定				
<基本目標5> 必要なときに情報を受発信できる仕	ーーー 組みをつくる							
能勢町の情報発信に対する満足度	32.0% (R2年度)	R8年度調査予定	50.0%	R8年度調査予定				

(参考)出生数・死亡数/転入数・転出数

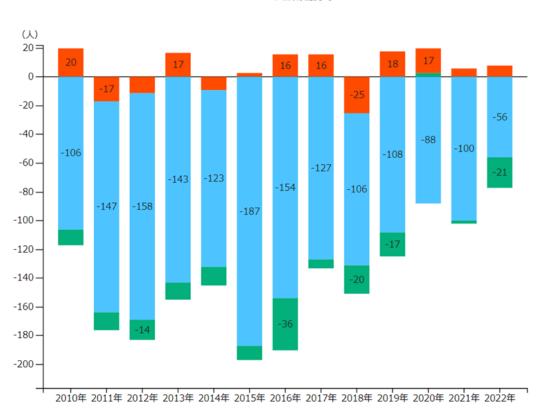
出所:地域経済分析システム(RESAS)より作成 (総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計 人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)



(参考)年齢階級別純移動数/年代別転入数・転出数内訳

年齢階級別純移動数

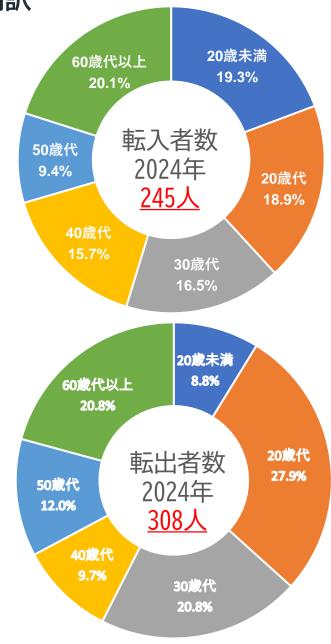
大阪府能勢町



出所:地域経済分析システム(RESAS)より抜粋 (総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【出典】

総務省「住民基本台帳人口移動報告」



0~14歳

65歳~

15~64歳

出所:総務省 住民基本台帳人口移動報告 年報より作成

2. KPIの達成状況

(※) A.目標を達成済 B.現状の取組で目標を達成する見込み C.取組改善により達成見込 D.達成困難

- KPIのうち、約6割が「A.目標を達成済」または「B.現状の取組で目標を達成する見込み」となっているが、「提案基準を用いた開発 許可・建築許可件数」(基本目標2)、「公共交通利用者数」、「公共施設の延床面積」(基本目標4)、に関する項目では目標達成 に向け、更なる取組が求められる。
- 一方、令和5年度の実施状況と比較して、「大学等との連携事業の件数(基本目標2)、「誘客数(基本目標2)」、「観光物産センター売上高(基本目標3)」、「認知症サポーター養成数(基本目標4)」等の改善が認められる。
- 特に、20歳台・30歳台の「人口」は減少する中にあるが、能勢町に愛着や親しみを感じていただける方々を増やしていけるように、 さらなる能勢ファン(関係人口)をつなぐ体験や交流、研修等の取組を進めるとともに、情報発信の工夫等に一層取り組んでいく。

()は前年度の数値

基本目標	合計	Α	В	С	D
<基本目標1> 次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8	3(0)	4(7)	1 (1)	
< 基本目標2> 地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる	5	1 (1)	2 (3)	2 (1)	
< 基本目標3 > 地域資源を生かした自律的なまちをつくる	8	1 (1)	6 (5)	1 (1)	(1)
< 基本目標4> 住み続けられる魅力ある地域をつくる	9	1 (1)	1 (4)	6 (3)	1 (1)
<基本目標5> 必要なときに情報を受発信できる仕組みをつくる	3	1 (1)	1 (1)		1 (1)
合 計	33	7 (21.2%)	14 (42.4%)	10 (30.3%)	2 (6.1%)

<基本目標1>次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる

		指標名	基準値	R6調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R5調査)	特記事項
	- 1	将来の夢や目標を持っている後期課程の生徒の 割合	同等 (R3年度)	全国平均を 上回る	全国平均を 上回る	A (B)	同等	
	2	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ① (前期課程_国語)	課題がある (R3年度)	課題がある	全国平均を 上回る	B (B)	課題がある	令和6年度全国学力学習状況調査における分析より、「知識・技能」の定着に課題が見
	3	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ②(前期課程算数)	課題がある (R3年度)	課題がある	全国平均を 上回る	B (B)	課題がある	られた。そこで、R7年度は「知識・技能」 の「活用」を意識した授業改善に取り組む。 ①探究的な学びの充実のためのプログラム
重要要	//	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ③(後期課程_国語)	同等 (R3年度)	課題がある	全国平均を 上回る	B (B)	同等	を導入し、子どもが自ら考え、行動する授 業づくりを推進する。
業務業績	h	全国学力学習状況調査における全国平均との差 ④(後期課程_数学)	同等 (R3年度)	課題がある	全国平均を 上回る	B (B)	同等	・②授業力向上アドバンス研修を実施し、学力向上の中核を担う教員を育成する。
指標(Kp		「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」における肯定的回答率の全国平均との比較①(前期課程)	同等 (R3年度)	同等	全国平均を 上回る	A (B)	同等	
Ĺ		「地域や社会をよくするために何をすべきかを 考えることがある」における肯定的回答率の全 国平均との比較①(後期課程)	同等 (R3年度)	同等	全国平均を 上回る	A (B)	同等	
	8	25-39歳の未婚率 ※結婚意思のある方の希望 を実現	男70.3% 女59.8% ^(H27年)	男72.5% 女62.3% ^(R2年)	男51.2% 女36.6%	C (c)	男72.5% 女62.3% ^(R2年)	出生動向基本調査は5年に1度実施されることから、令和7年度に実施予定の調査結果を確認していく予定である。

^(※) A.目標を達成済 B.現状の取組で目標を達成する見込み C.取組改善により達成見込 D.達成困難 ()内はR5年度結果

<基本目標2>地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる

		指標名	基準値	R6調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R5調査)	特記事項
	1	誘客数	331千人 (R2年度)	455千人 (R5年度)	500千人	B (B)	365千人 (R4年度)	
重要	2	大学等との連携事業の件数(累計)	4件 (R3年度)	9件	15件	B (B)	5件	
重要業務業績	3	ふるさと納税寄附件数	895件 (R3年)	3, 094件	2,000件	A (A)	7,380件	
指標(KPI	4	空き家のマッチング件数	1件・年 (R3年度)	1件・年	2件・年	C (C)	1件・年	空き家利活用個別相談会への相談件数は増加傾向にあり。 令和7年度には地域おこし協力隊と連携を深め、制度周知の 向上を図ることで、マッチング件数の増加を目指す。
)	5	提案基準を用いた開発許可・建築許 可件数	12件 (H29-R3年度)	21件 (H29-R6年度)	27件	C (B)	19件 (H29-R5年度)	令和3年度まで:12件、令和4年度:6件、令和5年度:1件、 令和6年度:2件 都市計画法施行条例等の改正により、要件を満たせば、土 砂災害警戒区域であっても、開発区域に含めることができ るようにした。

(※) A.目標を達成済 B.現状の取組で目標を達成する見込み C.取組改善により達成見込 D.達成困難 ()内はR5年度結果

<基本目標3>地域資源を生かした自律的なまちをつくる

		指標名	基準値	R6調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R5調査)	特記事項
	1	観光物産センター売上高	4億7,709万円 (R3年度)	5億5,716万円	5億円	A (A)	5億1,321万円	
	2	農業産出額	14億5,000万円 (R1年度)	13億円 (R5年度)	16億円	B (C)	12億9,000万円 (R4年度)	
重要業	3	創業実践塾受講者数(累計)	8人 (R3年度)	33人	40人	B (D)	6人	
	4	企業誘致件数(累計)	0件 (R3年度)	2件	3件	B (B)	0件	
*務業績指標(KP	5	「能勢版レッドリスト」の絶滅危惧種 の保全	策定中 (R3年度)	策定	絶滅危惧種の 保全	B (B)	策定	
P I)	6	森林資源消費量(薪)	20, 671束 ^(R3年度)	14,809束	30,000束	B (B)		実績値は減少しているが、他市の森林環境譲与税の活用により 里山活力創造推進事業(萌芽更新の為の伐採)の面積が広がり 薪束数も増加する見込みであり、B評価とした。
	7	域内再生可能エネルギー供給量	10,361MWh (H27年度)	14,319MWh (R5年度)	18,000MWh	C (B)	14, 183MWh (R4年度)	目標年度には達成困難であると思われるが、域内での再生可能 エネルギー供給量については、年々向上している状況である。
	8	大学等との連携事業の件数(累計) 【再掲】	4件 (R3年度)	9件	15件	B (B)	5件	

^(※) A.目標を達成済 B.現状の取組で目標を達成する見込み C.取組改善により達成見込 D.達成困難 ()内はR5年度結果

<基本目標4>住み続けられる魅力ある地域をつくる

		指標名	基準値	R6調査	目標値 (R8年度)	達成 見込※	参考 (R5調査)	特記事項
	1	特定健康診査の受診率	41.9 % (R3年度)	42.0% (暫定値)	60. 0%	C (C)	40.4% (暫定値)	特定健康診査受診者のうち年齢到達により後期高齢者医療保険に移 行する方が増加し、受診率の低下が予想されることから、若年層の 定着化へ取組むとともに、未受診者の状況について分析を行う。
	2	認知症サポーターの養成数	984人 (R3年度)	1,261人	1,300人	C (B)	1, 218人	認知症サポーター養成講座を学校の児童を対象に開催した。
		地域とのつながりがあると思う人の 割合	59.8% (R2年度)	_	80. 0%	_	_	令和6年度中に地域福祉計画策定に当り、住民アンケートを実施。 令和7年度6月末時点で判明した速報値は57.9%であった。
重要業務業	4	いきいき百歳体操の参加率	12 . 1% (R3年度)	8. 5%	15. 0%	C (C)	9.5%	参加者数は全体で減少傾向にある。今後、より一層の普及啓発に努めることで新たな参加者増を目指す。参加者の高齢化のため、改めて体操の効果的な運動方法などの情報提供の場を設け、介護予防につなげていく。
績指標		生涯学習(スポーツ含む)講座・ イベントの参加者数	985人 (R3年度)	6,229人	2,000人	A (A)	6,240人	
(KPI)	6	公共交通利用者数	263人/日 (R3年度)	281人/日	360人/日	C (B)	310人/日	基準値と比較すると数値は改善しているが、路線パス廃止後、代替交通 (妙見口のせ号)を運行しているが、目標値には達成していない状況であ る。乗合タクシーの運行区域拡大や妙見口のせ号の続行便対応等について、 利用促進につながるよう、さらなる情報提供を通じて、目標達成に向けて 取り組むもの。
	7	公共施設の延床面積 	78,344㎡ (R2年度)	73, 114m [*]	55, 000㎡	D (D)	75, 999m²	用途廃止された建物を順次除却しているものの、令和8年度の目標 達成は困難な状況である。
	8	空き家のマッチング件数 【再掲】	1件・年 ^(R3年度)	1件・年	2件・年	C (C)	1件・年	空き家バンクについては、移住希望者に対して登録物件が不足して いることから、セミナーの開催や個別の相談会の一層の周知を図る もの。
	9	提案基準を用いた開発許可・建築許 可件数【再掲】	12件 (H29-R3年度)	21件 (H29-R6年度)	27件	C (B)	21件 (H29-R5年度)	空き家バンクについては、移住希望者に対して登録物件が不足して いることから、セミナーの開催や個別の相談会の一層の周知を図る もの。
	10	地区計画策定数	0件 (R3年度)	0件	1件	B (B)	0件	

^(※) A.目標を達成済 B.現状の取組で目標を達成する見込み C.取組改善により達成見込 D.達成困難

<基本目標5>必要なときに情報を受発信できる仕組みをつくる

		指標名	 基準値 	R6調査	目標値 (R8年度)	達成 見込 (※)	参考 (R5調査)	特記事項
重要業	1	ふるさと納税寄附件数【再掲】	895件 (R3年)	7,380件	2,000件	A (A)	7,380件	
業務業績指標(KPI)	2	ホームページアクセス数	917千件 (R3年度)	915千件	1,350千件	D (D)	393千件	ホームページアクセス数を集計するシステム ツールがホームページへの延べ訪問数の計上 から、実訪問数の計上へと変更したことから 数値が減少した。このような経緯から目標値 達成が困難とするが、より魅力的な情報発信 に努める。
	3	未来技術を活用して地域課題を解決・改 善した件数	0件 (R3年度)	2件	3件	B (B)	1件	

^(※) A.目標を達成済 B.現状の取組で目標を達成する見込み C.取組改善により達成見込 D.達成困難 ()内はR5年度結果

3.主な取組について(総合計画の7つのテーマ関連)

賑わい創出・産業の活性化

Theme01

地域社会の創り手を育むまち

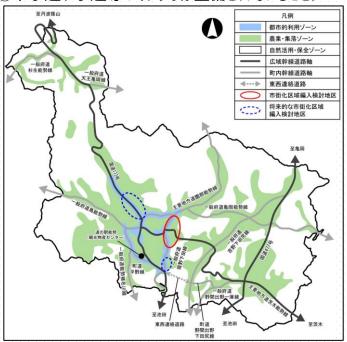
Theme02

Theme05

働く場所が多様にあるまち

産業用地創出、企業誘致の取組

- ○令和6年7月、都市計画マスタープラン改訂(都市計画審議会答申) 下記の要件を満たす地域において、産業用地の創出の取組を 進める。
- ①市街化区域に隣接し、市街化区域と一体となったまちづくりが 可能であること。
- ②府道等の基幹道路の沿道であること。
- ③下水道や水道等のインフラが整備されていること。



▲能勢町都市計画マスタープランより抜粋(R6.7月改定) 【市街地・集落整備の方針図】

〇令和6年12月、宿野四区・大里・柏原地区まちづくり協議会設立 既存の農地を産業用地として、土地利用転換できるよう取り組む。



◀R6.12月開催 まちづくり協議会設立総会の様子

- 〇令和7年3月、まちづくり協議会第2回総会の開催 【議題①】まちづくり構想図(案)について 【議題②】事業化検討アドバイザーの募集について 宿野四区•大里•柏原地区
 - ▲まちづくり構想図(案)

企業誘致の取組

事業化検討アドバイザー募集

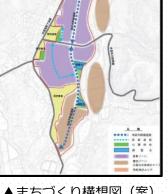
〇令和7年4月~【募集終了】

〇農業に取り組まれる企業2者を誘致し、農地活用の取組を進める。

・天王地区:高度環境制御栽培施設(トマト栽培:1.3ha)

・平野地区:遊休農地を利用(サツマイモ栽培:0.3ha)

※詳細な内容については、後ほど(3)部分でご紹介します。



つながり合う地域づくり

Theme02

Theme03

健康意識の高い町

○大阪大学と共に「能勢町健康長寿事業(のせけん)」を推進。 令和6年度末で、当事業は終了するものの、継続した取組の実施に 向け、「のせ健サポート」を大阪大学の協力を得て、実施していく。

○いきいき百歳体操交流大会を開催し、日頃の取組や適切な体操 実施に向けたワンポイント・レッスンなどを実施。

※参加者数:232人(町内41か所)





- ▲令和6年7月12日開催 第6回いきいき百歳体操交流大会の様子
- ◀引き続き取り組む 「のせ健サポート」について (健康づくり課 作成)

安心できる子育て環境

- ○「病後児保育室」の令和6年度利用実績は、 登録人数20名(17世帯)、利用実人数2名、延利用日数10日。 (東地域 ふれいあいプラザ※内に開設。)
- ※R5.4月より、住民サービスC.デイサービスC、国保診療所等を複合・移転したもの。
- ○のせ子ども食堂の取組

町内福祉施設、団体等のご協力により、無料または低額で子どもや 大人に、お食事を提供。(学校長期休暇に実施) 令和6年度夏休み時延利用人数:283人



至川西市 至川西市

所在地マップ

みどり丘幼稚園

新しい交通システム

Theme01

Theme06

Theme07

地域エネルギーで自立するまち

交通空白地の解消へ(高校生の通学支援)

○R6.4月から乗合タクシー、妙見口のせ号(路線バス廃止後)の本格運行開始した。 ⇒令和6年度利用実績については**別紙参照**。

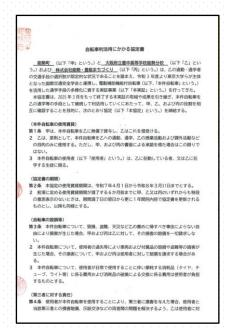
○(公財)国際交通安全学会との共同プロジェクトが終了し、使用していたE-bikeの寄贈を受け、 能勢分校生の通学に活用している。【能勢分校1~3年生:14名利用。】

〇共創プロジェクトへの参画

通学・観光に係るテーマの実証の取組を交通事業者等との協働により、取り組む。

※利用状況等を踏まえ、またさらなる利用促進に向け、令和7年4月から乗合タクシーの運行区域拡大に取り組んでいる。▼運行区域図





▲自転車利活用にかかる協定書 (能勢町・能勢分校、能勢・豊能まちづくり)

公用車にリユースEV導入

○公用車の特性に応じた車両導入により 経済的メリットと脱炭素化に貢献。

コンセプト



- 脱炭素化への貢献
- 〇 循環型社会の実現
- O EVの普及・促進

OR6年度実証の取組おける主な検討内容等

·経済性比較

公用車の走行距離に応じ、より低年式の車両導入により、経済性を高める。

・職員対象の試乗会開催 EVの仕組み、操作性等に ついて研修。

·仕様内容検討等

車両導入に向け、車両に係る基本的事項や 求める性能などの整理を行う。

妙見口のせ号・乗合タクシーの利用状況(R7.3月末時点)

妙見口のせ号

運行日数 **243日**

- ■概ね目標値どおりに推移していますが、早朝・昼間の便のご利用が少ない状況です。
- ■引き続き、積極的なご利用をお願いします。

便数	発車時刻	乗車人数	1日当りの 平均乗車人数
第1便	6:13発	161人	0.7人
第2便	6:55発	667人	2.7人
第3便	7:55発	1,690人	7.0人
第4便	12:43発	662人	2.7人
第5便	13:25発	318人	1.3人
第6便	17:00発	1,475人	6.1人
第7便	18:00発	698人	2.9人
計		5,671人	23.3人

目標値:1日当たり 26人

前回実績(R6.4~R7.1月)● 23.7人

乗合タクシー

運行日数 **241日**

- ■令和6年4月から<mark>歌垣・東郷地区</mark>を運行エリアに <mark>追加</mark>しましたが、目標値には到達していません。 令和7年4月からは、停留所の設置地域も拡大いた しました。
- ■継続した運行の為にも、より一層のご利用をお願いします。

項目	合計	月平均
運行回数	2,053回	171回
乗車人数	2,413人	201人
運行日当たり 利用者数	10.01人	-

前回実績(R6.4~R7.1月)

9.7人

目標値:1日当たり 25人

ゼロカーボンタウン・里山の魅力

Theme04

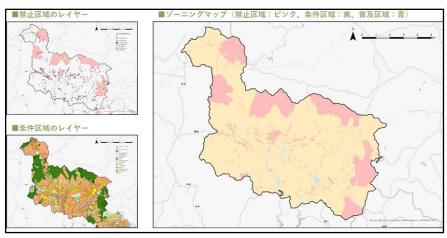
Theme07

地域エネルギーで自立するまち

公共施設における再工ネ導入検討等

〇令和6年度、町内公共施設2施設の電力使用について、 再生可能エネルギー比率の高い能勢・豊能まちづくりの電力に 切替え契約を締結(R7,4月から供給開始)。 【豊中市北消防署能勢町分署、交流促進施設】

- ○公共施設における太陽光発電施設設置について検討。 事業費、活用できる補助事業等について調査。
- ○地域と共生する再生可能エネルギー導入に向け、条例、施 行規則を整え、届出・許可案件に対応。
 - ⇒令和7年度対応予定の案件の申請あり。



▲能勢町地球温暖化対策実行計画に記載を追加 (令和6年5月計画改定)

森林資源の保全と活用

- 〇建築物等木材利用促進協定の締結(R5.12.1) 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の 利用の促進に関する法律」に基づく協定を締結。
- ○能勢産の木材を活用し、E-konzal、能勢・豊能まちづくり様により、「江坂ひととき」を建築。
- ※令和6年10月オープンされ、「里」と「街」をつなぐ機会の創出。 地域団体等による出展など、交流機会の創出に取り組まれている。
- 〇第35回緑の環境プラン大賞「第一生命賞」受賞し、生物多様性の保全・再生のためのビオトープ整備にかかる費用の助成を受ける。



▲完成した「江坂ひととき」

写真は能勢・豊能まちづくり様 よりご提供いただきました。



▲整備されたビオトープ

移住支援・能勢ファンの創出

Theme01

地域社会の創り手を育むまち

Theme04

Theme05

働く場所が多様にあるまち

地域おこし協力隊

- ○令和7年3月現在までに累計5名が能勢町に移住し、地域おこし 協力隊として活動している。
- 〇令和6年度末、1名の協力隊が卒隊し、大阪府外へ転居。
- Cさん:ふるさと納税返礼品開拓に係る会社で勤務。
- 〇現在、2名の隊員が、移住・定住支援(情報発信含)、物産セ ンターとの連携による農作物のブランディング活動等に取組んでいる。



◀小川隊員 移住・定住支援 情報発信など

> 西川隊員▶ 物産センターとの連携 農産物ブランディング



地域おこし協力隊活動日誌

地域おこし協力隊として道の駅「くりの郷」で活動をさせていただき、早



いる鳥獣被害や猛暑による生育不良、担い手不足の課題解決に繋がる活動 をしていきたいと思います。

地域振興課(2734・3976

▲地域おこし協力隊活動日誌(R7.1月号広報のせ掲載)

高校魅力化·地域留学

- ○全国から高校2年生が集まるような高等学校(能勢分校)の魅力化に 取り組む。【対象:高校2年生、1年間】
- ○受け入れ家庭の発掘と体験プログラムの構築に向けた取組み。





@NOSELIFE HS

・高校2年生が能勢留学してみた~」

(高2留学生受け入れ家庭募集チラシ

観光資源を生かした賑わい創出

〇おおさかのてっぺんフェスティバルの取組(令和6年10月6日)。 様々な世代が楽しめる、能勢町の魅力を存分に満喫いただける機会とし、 関係団体の協力により、実行委員会を組織し、実施・運営。



▲R6.9月号広報のせ記事抜粋



▲R6.10.6 快晴のもと行われたてっぺんフェスティバル